



<校訓>  
正しく  
明るく  
たくましく

長浜市立高月中学校  
学校報 第11号  
令和7年3月19日発行  
文責:福永 かおる

## 歌声響いた 卒業式

3月11日(火)、令和6年度の卒業証書授与式を行いました。本校の同窓生は11482人となりました。3月7日(金)には、同窓会入会式も執り行い、記念品として同窓会から印鑑セットをいただきました。ありがとうございました。

小学校後半から中学校前半までは、コロナ禍の中で学校生活を送ってきた生徒たちです。3年生担任陣の学級通信を見ていますと、1年生から3年生までそれぞれの学年でドラマがあったことがわかりました。それらを糧にして、卒業の姿があったと思うと、わずか1年ではありましたが、胸にこみ上げるものがありました。



式辞の中では、詩人である真壁仁氏の「峠」という詩を紹介しました。特に「峠は決定をしいるところだ。峠には訣別のためのあかるい憂愁がながれている。」という最初の二行にひきつけられます。義務教育修了とその後の進路選択は、人生で初めての岐路です。これまで歩んできたことは自分の支えになるとは思いますが、過去と訣別(きっぱりと別れる)して、新しい世界に飛び込むこともとても大切なことだと思います。式辞の中では次のように述べました。

「義務教育修了という峠に差し掛かり、私は、皆さん一人ひとりに「たくましさ」が備わったと思っています。それは、先ほど紹介した数々の場面の中で見られた、自分の考えを表明できる強さであり、不安や戸惑いがあるとき周りに助けを求める勇気です。校訓を見事に体現した皆さんを送り出せることがとてもうれしく感じます。

自分を信じて、人生の次の山に向かって歩いてください。明るさ、たくましさを備えた皆さんが、誠意ある態度でことに当たれば、目に見えない力がそっとあなた自身を包み込み、支え、背中を押してくれるはずです。」



未来(あす)からの人生を力強く切り拓いていってほしいと思います。

式の最初は「校歌」、最後は式歌「旅立ちの日に」を全校生徒が歌いました。卒業式に全校が歌ったこの2曲は、体育館中に歌声が響き渡り、式を盛り上げてくれました。特に、卒業生の声が素晴らしく、いい声が出ていました。

全校生徒のハーモニーが体育館の天井に上っていくあの余韻は素晴らしく、最後の授業である卒業式にふさわしいものでした。

在校生の皆さんは、今まで行事や部活動、生徒会活動などでいろいろとお世話になった先輩たちの姿をしっかりと引継ぎ、次年度に向けて新しい風を入れながら更なる成長を遂げてほしいと思います。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様、1年間、本校教育にご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。引き続き、次年度も本校への応援をどうぞよろしくお願いいたします。

3月11日(火) 予定表		日直
教科	学習内容・持ち物	
1	年間	君達との時間 最高でした
2	時間後	胸を張って卒業しよう
3	日後	君達とのこと思い出す。
4	週間後	新たな高校生活 FIGHT
5	年後	成人式で乾杯
6	0年後	素敵な人生歩んでね
連絡	+	欠席 遅刻 早退

3月11日(火) 予定表		日直
教科	学習内容・持ち物	
1	時間後	良い卒業式にしよう
2	日後	間違えて登校しないように
3	週間後	次に向けて準備しよう
4	ヶ月後	新境地を楽しもう
5	年後	お酒の飲みすぎには注意!
6	宿題	次のステージを全力で楽しむ
連絡		欠席 遅刻 早退

